

指定管理者の選定結果（非公募用）

- 1 施設の名称 静岡市賤機都市山村交流センター
- 2 指定管理者の名称 賤機都市山村交流センター運営委員会
- 3 指定期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日
- 4 選定の経緯
 - (1) 非公募
 - ア 非公募の理由
地域の住民団体による管理が施設の設置目的を効果的に達成できる施設であるため。
 - イ 募集期間 平成28年10月18日～平成28年11月21日
 - ウ 募集対象団体 賤機都市山村交流センター運営委員会
 - (2) 審査方法
 - ア 審査の種類
 - (ア) 書類審査 平成28年12月12日
 - (イ) プレゼンテーション 平成28年12月12日
 - イ 審査委員会
委員長 小林 満明（経済局農林水産部中山間地振興担当部長）
委員 中村 正史（経済局農林水産部農業政策課長）
〃 佐野 真浩（経済局農林水産部中山間地振興課長）
〃 大塚 郁美（油山苑若女将）
〃 杉山 満（藁科都市山村交流センター館長）
 - ウ 審査基準（別紙 指定管理申請者審査表のとおり）
 - エ 決定方法（審査方法）
各審査委員が、書類審査とプレゼンテーションの結果に基づき上記審査項目について採点し、総合点数により決定する。
 - (3) 審査結果
 - ア 選定された団体の名称及び点数
 - (ア) 名称：賤機都市山村交流センター運営委員会
 - (イ) 点数：83.0点／100点満点（市が設定した最低基準点70点）
 - (ウ) 指定管理料提示額：22,267千円
 - イ 総評（選定の理由等）
賤機都市山村交流センター運営委員会は、賤機中・賤機北・松野・大河内・梅ヶ島・玉川・井川地区の町内会長より推薦された者から構成される組織であるため、地域資源を活かしたサービスの提供や地域との密着性の高い活動の実施ができることから、当業務の目的である、都市住民と中山間地域住民の交流促進への効果が期待できることが評価され、引き続き指定管理者として指定することが適当であると判断された。
 - (4) 指定管理者選定委員会
委員長 総務局長
委員 総務局次長、市民局次長、観光交流文化局次長、保険福祉長寿局次長、保健衛生医療部長、子ども未来局次長、経済局次長、農林水産部長、都市局次長、教育局次長
 - (5) 市議会の議決 平成29年3月10日
 - (6) 指 定 平成29年3月10日
 - (7) 公 告 平成29年3月14日

指定管理申請者審査表

施設の名称

基本項目	審査項目	比率①	評価②	点数 ①×②
点 の た 設 置 目 的 を 達 成 す る た め に ふ さ わ し い も の で あ る こ と。 (二五)	施設の運営方針は明確で十分な内容であるか。	× 1		
	施設の設置目的を十分に理解し、その目的を達成するための事業が事業計画に盛り込まれているか。	× 2		
	市が提示した仕様書の内容を十分に理解し、それが事業計画に反映されているか。	× 2		
	【所見欄】			
点 な 管 理 を 実 現 す る も の で あ る こ と。 (二五)	市が示した指定管理料の上限額に対し、適正な範囲内で提示されているか。	× 1		
	市民ニーズの把握と施設運営の適切な反映策が示されているか。	× 1		
	市民サービス向上のための適切な方策が示されているか。	× 1		
	経費削減の適切な考え方とその具体的な方策が示されているか。	× 1		
	事業計画を実施するために、必要な予算措置がなされているか。	× 1		
【所見欄】				
五 点 的 、 人 的 能 力 を 有 し て い る と 認 め ら れ る こ と。 (二)	当該施設の指定管理者としての実績は十分か。	× 1		
	施設全体の管理運営に必要な能力（配置体制）を有しているか。	× 1		
	事故、災害など緊急時における対策は適正か。	× 1		
	個人情報保護について、その重要性を認識し、対策を講じているか。	× 1		
【所見欄】				
こ と。 (二五)	決算収支の状況は適正であるか。	× 1		
	適正な経理的処理能力を有しているか。	× 1		
	過去数年間において損失が続いていないか。	× 1		
【所見欄】				
○ 点 の 他 そ	事業を取り組む自主性及び積極性が見受けられるか。	× 2		
	【所見欄】			

評価：優れている…5、やや優れている…4、普通…3、やや劣っている…2、劣っている…1

満点	最低基準 (70%)	合計点数
100 点	70 点	点

【意見欄】